

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 2 年度第 1 回 富士見市介護保険事業推進委員会 議事録</p>						
日 時	令和 2 年 6 月 2 5 日 (木)		開会	午後 1 時 3 0 分		
			閉会	午後 3 時 1 5 分		
場 所	南畑公民館 2 階 会議室					
出席者	委 員	奥村会長	日鼻副会長	鳥羽委員	渋谷委員	武長委員
		○	○	欠	欠	欠
		谷澤委員	前田委員	熊木委員	古内委員	小寺委員
		○	○	○	○	○
		佐々木委員	井山委員			
		○	○			
	関係者	高齢者あんしん相談センターむさしの 管理者 勇美 " ふじみ苑 管理者 市川 " えぶりわん鶴瀬 Nisi 管理者 田代 " みずほ苑 管理者 橋本 " ひだまりの庭むさしの 管理者 土川				
事務局	健康福祉部 鈴木部長 高齢者福祉課 宮嶋課長、長谷部副課長、新山副課長、 飯塚係長、神谷係長、内田主査、鶴田主任 健康増進センター 望月所長、平係長 福祉課 渋谷主任					
公開・非公開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	(1) 令和 2 年度各高齢者あんしん相談センター事業計画及び収支 予算書について (2) 指定介護予防支援業務委託の承認について (3) 高齢者等実態調査報告書について (4) 第 8 期計画の基本指針及び記載を充実する事項について (5) 要介護認定・保険給付の状況について (6) 介護保険事業推進委員会スケジュールについて					

議 事 内 容

1 開会

- ・新委員紹介（辞任された委員の報告）
- ・事務局紹介
- ・委員長より開会のあいさつ

2 議事

(1) 令和2年度各高齢者あんしん相談センター事業計画及び収支予算書について

- ・資料1-1に基づき、事務局より運営方針について説明。
引き続き、資料1-2に基づき、各高齢者あんしん相談センター管理者から事業計画及び収支予算書について説明。

<質 疑>

委 員：第5圏域は、他の圏域と比べると後期高齢者率が高い町会が多く、複雑な事情が絡み合った相談も多いとの報告であったが、様々な相談の中にはどういう最期を迎えるかなどの内容もあると思う。運営方針のどこの部分に従って活動しているのか。

管理者：資料1-1の運営方針の具体的方針「1 総合相談支援業務」に沿って支援を行っているが、相談内容は多様ですので、医療的なケアが必要な場合は医療の関係機関・関係者等と連携しながら支援していくなど、それぞれのケースに合わせて多様な専門職と一緒に関わっていきながら、複雑な事情が絡み合った相談についても対応している状況です。

委 員：運営方針の総合相談支援業務だけだと支援が弱い感じがする。今後適切な支援を行ってほしい。

委 員：第5圏域の活動評価の中に「人生会議」とあるが、どういうものなのか教えてほしい。

管理者：「人生会議」とは、もしものときのために、高齢者の望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・介護関係者と繰り返し話し合い、共有する取組みのことです。相談の中にはターミナル期にかかわる相談も多いので、どういう最期を迎えるかなど元気な時に話し合っておくことも必要であると感じています。

事務局：資料1-1の運営方針の具体的方針「7 医療と介護の連携」にもあるように、医療と介護の連携強化がますます必要であると感じています。2市1町主催の医療と介護の連携会議には、高齢者あんしん相談センター管理者1名が参加しており、会議内容を各センターと情報共有したり、多職種研修にも多くの職員が積極的に参加したりして、連携を深めています。医療と介護の両方を必要とする高齢者の方々からの相談も増えているので、多様化・複雑化している相談内容に対し、今後も市とセンターと関係機関・関係者等と連携し協力しながら対応していきます。

(2) 指定介護予防支援業務委託の承認について

- ・資料2に沿って事務局から説明。

質疑なし

上記について承認。

(3) 高齢者等実態調査報告書について

- ・事務局より資料3、資料3-2に沿って説明。

委員：フレイルサイクルが悪循環にならないためには食事も大切であると言われているが、高齢者が低栄養、低体重にならないよう、介護予防の取組みや啓発を強化していただきたいと思う。調査報告書の23ページ問1のBMIは18.5%未満が低体重となっているが、その基準だけでの分析ではなく、より細かい分析はできないか。

事務局：高齢者の低栄養はフレイルを起こす要因の一つであり、バランスよい食事をしっかりと摂取し低栄養状態に陥らないようにするとともに、口腔ケア、運動機能の維持、社会参加など、早いうちからフレイル予防や対策することが大切であると認識しています。今後も介護予防事業を広く周知していきたいと考えています。また、BMIの分析については、細かい分析が出来るようであれば、次回以降の会議で資料をお示ししますので、ご理解いただきたい。

委員：後期高齢者も増え一人暮らしや日中独居の高齢者が増えている中、民生委員の果たす役割がますます大きいと感じている。しかしコロナの影響でほとんど活動が出来ておらず、また、民生委員の欠員になっている地域がとても多いので、地域格差が出ており危惧している。民生委員の役割について見直していくなど、市としてどう考えているのか聞きたい。

事務局：今年度も数名の新規委嘱をしますが、まだまだ欠員の地域もあります。欠員の補充ができるよう、町会とともに努めていきたい。連携しながら、市として民生委員の活動を今後も支援していきたい。

委員：民生委員のなり手がなかなかいない。欠員が30人近くもいるのはどうなのか。市と町会、地域が一体となって欠員を解消していくために、具体的な方策を示してほしい。

(4) 第8期計画の基本指針及び記載を充実する事項について

- ・事務局より資料4に沿って説明。

委員：市内でもロボットを導入している施設があると思うが、介護職員の負担軽減のために利用しているのか。活用状況はどうか。

事務局：施設がロボットを導入する際に国からの補助金が出た時が過去にあり市も関わった事例もありますが、施設独自で導入している場合は活用状況等の把握が出来ていません。介護現場におけるロボットやICTの活用については、第8期計画において記載を充実する事項に含まれており、市内施設の導入状況等の情報収集が必要になってくると考えられますので、今後ヒアリング等行っていきたい。

委員：新型コロナウイルスの影響により会議開催が出来なかったことが、第8期計画の策定にどう関わってくるのか。国から指針等ではまだ示されていないのか。

事務局：今のところ第8期計画への影響について国や県からの情報提供はありませんので、今後の動向に注視していきたい。計画の各事業の実施状況や推計値、サービス別給付費等の内、影響が出てきそうなものについては、新型コロナウイルスの影響が今後どう出てくるのかという内容の記載がされるものもあると思われます。今後の会議で各事業の課題の整理や、目標値・推計値の見込み等の検討をする際に、資料をお示ししますので審議していただきたい。

委員：介護人材確保策の一つとして県で介護職員生活援助従事者研修をやっている。高齢者のちょっとした困りごとや、掃除・洗濯・買い物などの生活援助を支援してくれる担い手が増え、そういうサービスの情報を高齢者が簡単に収集できると良いと思う。市では介護人材の確保として研修等を行ったりしていないのか。

事務局：市では平成30年度より厚生労働省が新たに導入した入門研修を同年度に1回実施しています。介護人材不足解消に向けた取組みであり、生活援助中心型のサービス従事者になるための必要な知識等を習得していただく研修を開催し、10名修了しました。この研修を修了することで、市認定者として総合事業の訪問型サービス事業所において、掃除・洗濯・買い物などの生活援助業務に従事することができますが、今のところ就業した方はいません。また、社会福祉協議会のふじみ在宅福祉サービスセンターでも掃除や買い物などのちょっとした困りごとを手伝う在宅福祉サービスを行っていたり、地域の方々による助け合いの仕組みづくりでゴミ出しなどの困りごとを解決していたり、高齢者を支えるインフォーマルなサービスは市内にもいくつかありますので、広く周知していきたい。

(5) 要介護認定・保険給付の状況について

- ・事務局より資料5に沿って説明。

質疑なし

(6) 介護保険事業推進委員会スケジュールについて

- ・事務局より資料6に沿って説明。

質疑なし

(7) その他

なし

3 閉会

- ・副委員長より閉会のあいさつ